

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。 バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「釣りの楽しさ」

以前、私が趣味でやっている釣りに、知り合いが一緒に行きたいというので、行くことになりました。私は釣りの中でも溪流釣りが好きなので、時々、山の upstream に行きます。今回もせっかく行くのだからと、山奥深い、自然の中に行くことにしました。そのような場所での釣りは、まず、車を止めてから川に下りる必要があります。やっと、川に下りることができた後も、向こう岸に渡るのも一苦労です。そして、良さそうなポイントを探して、川を上っていきながら釣るわけですが、全く釣れません。しかし、私にとってそれは普通のこと、ひとりで来ても数時間に一匹、もしくはボウズの時もあります。そして、その日はボウズでした。

諦めて車に戻ることになりましたが、川沿いに戻るのには時間がかかるので、上に通っている林道まで崖を上ります。これが最後のダメ押しだったようです。登れそうなく所を発見したのですが、すごい急斜面で、何度か下まで落ちそうになりながら何とか林道に到着。車まで林道をテクテクと戻りました。

後日ふと思いました。私は、自分がわかってる釣りの楽しさを無理に押し付けていたのではないかな？ せっかく行くのだからと、いつものような場所に行ったが、まずは釣る楽しさを伝えたほうが良かったのではないかな？ 魚の引き具合や針の外し方、また、釣れた時の感覚は嬉しいものです。その後、更に釣りを続ける気持ちになったら、釣りの楽しさへと進めば良かったのではないかと。

最初に大変な思いをしてしまうと、苦難のイメージが強く残ってしまいます。「仕事」も同様なのではないでしょうか。

今思えば、社会人になりたての頃、ただただ大変で、仕事の楽しさなんてことは全くわかりませんでした。注文を取るために上司と同行し、お客様との関係に慣れていきます。上司の話し方、接し方、経験や失敗など段階を踏んで、ようやく注文を取ることができました。上司、お客様のサポートのおかげです。苦労や困難の後、お客様の役に立つことができ、成果が上がることで、さらにやる気がでます。

最初に注文をいただいたお客様の顔は今でも覚えています。その方と会わなかったら仕事はつまらないと、辞めていたかもしれません。仕事の楽しさ(釣る楽しさ)を教えてくださいました。後、経験を積んでいくと、直接、お客様と取引ができなくても、そのお客様から様々なことを学ぶことで、自分の糧になっていることを知りました。営業成績はマイナスだけど、自分にはプラスになっていることに気づけるようになり、釣る楽しさ、十釣りの楽しさを知ったような感じです。

さて、冒頭の知り合いは、もう釣りはいいです、と言っています。継続できるように「楽しさ」を提供できなかったのは私の敗北、失敗です。この反省を生かし、今度は違う何かを提供したいと考えています。

ご案内

簡単更新くん

それほど高機能ではなく、
更新したいページを簡単に
更新できる「簡単更新くん」

簡単らいんちゃん

つながりたいをサポートする
「簡単らいんちゃん」

【この件に関する問い合わせ】

ラップ東京株式会社

(担当：田島)

TEL: 042-349-3535

ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。 <https://www.raptokyo.co.jp/>

